

第56回試験研究成果発表会（花植木Ⅱ）発表概要

【日時】平成31年2月13日（水）13:00～15:20

【会場】農林総合研究センター 農本館（千葉市緑区大膳野町 808）

発表1 成果発表（13:10～13:35）

中・小型植木の接ぎ木技術

—イヌマキの接ぎ木と取り木手法について—

花植木研究室 下江 憲

中小型鉢植木において付加価値（葉性、枝振り、根張り）の高い有用形質の導入、維持のため、イヌマキの接ぎ木及び取り木技術の開発が求められています。

本発表では、接ぎ木及び取り木の作業を適期に行うことで定着率が向上する技術を紹介します。



イヌマキの取り木

発表2 成果発表（13:35～14:00）

光をうまく利用して開花調節！

—LEDを用いた鉢物カーネーションの低コスト栽培法—

花植木研究室 中島 拓

鉢物カーネーションは母の日の定番商品として定着していますが、資材高騰などから栽培コストの削減が求められています。本発表では、LEDを照射することで、従来より低い暖房温度でも母の日出荷が行える栽培方法をご紹介します。



LED照射による低コスト栽培

発表3 成果発表（14:00～14:20）

夏の花壇を楽しもう！

－第63回全日本花卉品種審査会「ペチュニア夏花壇」結果報告－

花植木研究室 室田 有里

梅雨明け後の夏花壇においても、病害、枯れ、花しみ等の発生が少なく、高い観賞性を維持できるペチュニア品種として、「スーパーチュニアビスタチャームパープル」、「YES！イエロー（旧系統名：GB60-1）」、「サルサピンクモーン」、「スーパーチュニアビスタパープル」、「サルサパープル」を選定したのでそれぞれの特徴を紹介します。



ペチュニアの品種比較

発表4 成果発表（14:35～14:55）

夏期高温期に利用できる花壇苗品目と活着改善技術

－2020年東京オリンピック・パラリンピック需要を目指して－

花植木研究室 中島 拓

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催期間に当たる7月下旬～9月上旬の植栽に利用できる品目を紹介します。

また、夏場の植栽で問題となる、植え付け時の活着を改善する肥料を紹介します。



植栽に利用できる花壇苗品目

発表5 情報提供 (14:55~15:15)

花き類のハダニ類薬剤抵抗性について

暖地園芸研究所 生産環境研究室 大谷 徹

ナミハダニの殺ダニ剤抵抗性の発達が問題になっています。このため、ナシでは防除暦の剤が大きく変更され、イチゴでは天敵を放飼する方法も普及するようになりました。花き類でも実態の把握と対策が求められています。バラで採集したハダニの殺ダニ剤感受性検定を行い、その結果を紹介します。



検定中のナミハダニ